

#11 【評価を受ける場があなたを加速させる】コーチが伸びる環境のつくり方

こんにちは、
ジュニアサッカー大学、講師のカズです。

前回は

「最速で指導力を上げるモデリング学習」

を紹介しました。

今日はその次の一手

「評価を受ける環境」に飛び込むと、成長スピードは何倍にも跳ね上がる
というリアル体験をシェアします。

=====

【なぜ『評価される場』が必要なのか？】

自己流＝ぬるま湯
他者の視点＝アイスバス

- ①客観的なフィードバックがないと、自分の課題は永遠に「死角」のまま。
- ②評価されると“緊張＆準備”がセット → 1回の練習にかける濃度が爆上がり。
- ③クリアすべき基準が見えるので、やることがシンプルになる。

=====

【僕の3つのリアル転機】

- ①JFA指導者ライセンス
・メニュー考案＆指導実践でチェックされる

②スペイン系のサッカースクール

- ・スペイン人コーチ&著名指導者による全練習のフィードバック

③スペイン留学

- ・毎週のテスト&スペイン語で指導実践

④スペイン留学後

- ・毎日スタッフとお互いにフィードバック&ディスカッション

結論：緊張感 MAX の場ほど成長幅も MAX になります。

=====

【いますぐ作れる 3 つの評価ルート】

①チーム内の相互チェック

月 1 でも良いので「練習を観て→5 分で良い所と課題を交換」。

②セルフ動画レビュー

スマホで固定撮影→夜に見返すだけでも癖や改善点が見える。

③公開練習・講習会に参加

ライセンス講習、地域の研修会など『他人の目』 がある場へ。

緊張感こそ最強の成長装置です。

=====

【30 秒ワーク | 評価プレッシャーを 1 つセット】

①今週中に “誰に・どの場面で” 自分の指導を見てもうか決める。

②カレンダーに予定をブロック。

③当日までに「ここだけは見てほしいポイント」を 1 つ準備。

=====

↓もっと深掘りしたい方へ

ブログ記事：サッカーコーチ【評価を受ける環境】必ず成長します：リアルな実体験

%url1%

=====

それでは、今回も最後まで読んでいただき、ありがとうございました！

指導は“見られて”初めて磨かれる。

勇気を出してアイスバスに飛び込みましょう。

冷たいけれど、上がった後は別人です！

ジュニアサッカー大学

カズ